

ウクライナ戦争。毎日情報更新。第162日

英語版はソフィア・オリーニックさんとマリヤナ・ザヴィイシカさんによって作成されました。

日本語版はダリヤ・ゴリナさんたちによって翻訳されました。

外交政策 ウクライナのウォロディミル・ゼレンスキー大統領は、新しく任命されたエストニアのウルマス・レインサル外務大臣と会談しました。キーウ市の訪問はウルマス・レインサル外務大臣の最初の外国訪問でした。学校や幼稚園を含む優先インフラの復旧プロセス開始は訪問のイニチアチブでした。「プロセス支援を開始してくれたことに感謝したい [...] 貴国で作業が開始されたことに感謝します。エストニア政府とエストニア人に感謝します」とウォロディミル・ゼレンスキー氏が言いました。大臣の訪問の枠組みの中で、高速復旧計画の中で最初の幼稚園の建設が開始された際に、ジトームィル州の国境の町オヴルチに記念カプセルが敷設されたと声明からわかります。これは、地域の再建を支援するために、ジトームィル州役所がエストニア政府による検討のために提案した15の一一般インフラストラクチャーのうちの最初のものです。エストニアは復興にコミットした国の中で、実際のプロジェクトを進めた最初の国です。

ウクライナ軍の海軍司令官であるオレクシー・ネイジパパは、NATO 海上司令部の司令官であるキース・プラントとオンライン会議を開催しました。会議中、ウクライナの港からの穀物輸出の話題が議論されました。両当事者は、地雷安全を確保し、ウクライナの穀物や食品を輸送する船が移動する安全なルートを作成することに細心の注意を払いました。

人権障害 赤十字社は、アゾフスタイルを去ったウクライナ軍人の安全を保証したものではないと述べました。「いったん敵の手に渡った捕虜の安全は保証していません。我々は事前に当事者にこのことを明らかにしていました。暴力行為、脅迫、公的好奇心、および敵対行為の影響から捕虜を確実に保護することは、紛争当事者の義務です。戦争の当事者だけが、捕虜の安全と治安を確実に確保できる」と赤十字は報告しました。

最高会議の人権コミッショナーのドミトロ・ルビネットによると、ウクライナ連隊「アゾフ」をテロ組織として認めたことに関するロシア連邦最高裁判所の決定は、ロシアが「アゾフ連隊」の捕虜を第3条のジュネーブ条約の範囲からの連隊を取り除こうとする試みであって、その結果、ロシアは捕虜へのアクセスをICRCの代表者に拒否し、それを合法と見なします。

国連のアントニオ・グテーレス事務総長は、一時的に占領されたドネツク州のオレニフカ刑務所で7月29日に約50人のウクライナ人捕虜が殺害された爆発に関する事実調査団を立ち上げると発表しました。国防省の主要情報局によると、ロシア連邦は意図的に刑務所に地雷を敷き、捕らえた兵士を殺害して、彼らの拷問と虐待の事実を隠蔽しました。

攻撃を受けている都市 内務副大臣は前日、警察が30の居住区画の砲撃に関する情報を受け取りたと報告しました。砲撃の結果、16人が死亡し、数十人が負傷しました。ドネツク州の状況は依然として非常に緊張しており、ミコラーイウ、ハリコフ、スミ、チェルニーヒウ、ヘルソン州は容赦なく砲撃を受け続けています。

ハリキウ州のチュゲイエフはロシア軍の砲撃を受けました。ハリキウ市長イホル・テレホフは、ハリキウで2回の爆発音が聞こえたと報告しました。その結果、インフラ施設が被害を受けました。1人が死亡、2人が負傷しました。夜間の砲撃の結果、ドニプロペトロウシク州のヴェリカ・コストロムカ村で70歳の女性が死亡し、幼稚園、教会と送電線が損傷しました。8月3日の朝、ドネツク州のバフムトで、「フリー ラジオ」のオフィスがロシア軍の標的型攻撃を受けました。「フリー ラジオ」は「ロシア軍はおそらく意図的に民用物を標的にした」と報じました。スミ州のクラスノピリア中心部、鉄道駅周辺と穀物庫はロシア軍の砲撃を受けました。8月3日の朝、ムイコラーイウへの砲撃が行われた結果、スーパーマーケット、馬術学校が破壊、高層ビルや薬局などが被害を受けました。

占領下の都市。ロシアの占領者がヘルソン地域の学校の校長を誘拐しました。ヘルソン地域評議会の初代副議長ユーリー・ソボレフスキイによれば、ウクライナの教師の大多数が占領者との協力を拒否し、ロシアのプログラムの下で教育機関の仕事を再編成するため、地域全体の校長に大きな圧力がかかっています。」

8月3日夜、ドネツク地方からキロヴォフラード地方に2本目の避難列車が到着しました。年金受給者、障害者、負傷者、子供たちが来ました。社会福祉、公的機関、赤十字、医師、救助者、心理学者、警察の代表が避難民に会いました。

マリウポリ市議会によると、一時的に占領されたマリウポリでは、ロシア軍がアレクサンドル・ネフスキイの記念碑を馬に乗って建てるために軍人の記念碑を解体しています。

エネルゴダール市長のドミトロ・オルロフ氏は、ロシア軍が一時的に占領されていたエネルゴダールを軍隊のせいにするために近くの村から砲撃したと伝えました。

占領下のメリトポリ市で新しいテレビチャンネルが開始され、ロシアのプロパガンダが放送されます。新しいテレビチャンネルのスタジオは、メリトポリの占領下のテレビ塔の下に配置されます。誰がプロパガンダTVチャンネルを率いたかについての情報はまだありません。5月の初めに、メリトポリの3人のジャーナリストが占領者と協力することに同意したことが明らかになりました。

7月中に、ロシアはウクライナで支配する土地の面積を約165平方キロメートル増やしました。ウクライナの合計で約19.4%が占められていることに相当します。6月末よりも~0.02% 増加しています。

エネルギー安全保障。国際原子力機関事務局長のラファエル・グロッシ氏は、占領者が捕らえたザポリージャ原子力発電所は「完全に制御不能である。原子力安全のすべての原則に違反している」と述べました。

ウクライナ西部の新しい圧縮コンプレッサステーションが稼働しました。それは、より多くのガスを抽出し、ウクライナ人の暖房シーズン中に中断のない燃料供給のために複合施設全体の信頼できる操作を保証し、また青い燃料の品質を向上させるのに役立ちます。「戦争のため、私たちが確保することはさらに重要です積極的な敵対行為が進行していない場合、およびシステム全体の信頼性を確保するために、可能な場合は生産量を増やす」と述べました。

ロシアのウクライナ侵攻の世界的影響に関する新しい報告書は、[国連グローバル危機対応グループ](#)によって発表されました。ウクライナでの戦争によって悪化した進行中のエネルギー危機は、新しい報告書で強調されました。ロシアのウクライナ侵攻の世界的影響に関する第3回国連報告書の発表を記念する記者会見で、[アントニオ・グテレス](#)は「真実は、私たち全員がお金を失っているときに、石油およびガス産業からのこれらの過度の、法外な利益を見ているということです」と言いました。調査結果のいくつかは次のとおりです。高インフレと相まって、2022年の終わりまたは2023年にスタグフレーションに戻ることを意味するかもしれない迫り来る経済減速の恐れが高まっています。世界は大きなエネルギー危機の危機に瀕しており、世界中の国々が、特に化石燃料の非常に高く変動する価格の影響を受けています。エネルギー価格の上昇は、エネルギー市場から最も脆弱な市民に高レベルの影響を与える多くの開発途上国を直面する可能性があります。

食料安全保障。[ウクライナ](#)のインフラ省は、ウクライナの穀物を積んだ最初の船がトルコの合同調整センターの検査に合格し、レバノンの目的地に行く準備ができていると報告しました。トルコの領海での停泊は、イスタンブールで署名された「穀物イニシアチブ」の実施の次の段階、すなわち禁止貨物の船舶の検査に関連しています。

[ウクライナ国家国境庁](#)の海事安全保障によれば、海事警備隊の工作員は、ロシアとシリアの船がクリミアを経由して占領地からウクライナの穀物を違法に輸出する計画を明らかにしました。

[国連食糧農業機関](#)は、カナダの財政的支援を受けて、ウクライナの穀物貯蔵の問題をさらに解決するために、4000万米ドルの新しいプロジェクトを立ち上げました。このイニシアチブにより、適切な技術サポートと設備とともに、2022年から2023年にさらに240万トンの穀物を貯蔵できるようになることに注意してください。

[ウクライナ](#)は、2022年7月に、代替ルートを通じて300万トンの穀物と石油作物を輸出しました。「6月には200万トンと2000トンを出荷しましたが、6月のこの値は約300万トンの穀物と油糧種子であり、ロジスティクスの改善を反映しています」とウクライナ農業評議会の副責任者であるデニス・マルチウツク氏は述べています。

[デニス・シュミハリ首相](#)は、収穫期に350万ヘクタールの面積で1200万トンの新作物が収穫されたと発表しました。彼は、今年の収穫量は当初の予測よりも多くなると予想されており、6000万トンではなく6500万から6700万トンになると述べました。

制裁 カナダはロシアに対する制裁を拡大しました。したがって、ブチャでの残虐行為に関与したロシアの軍人を含む43人がリストに含まれていました。制裁は、ロシア軍を支援する防衛部門の17の組織にも適用されました。また、スイスはロシアからの金の輸入に対する制裁を導入しました。スイスはまた、農産物と石油の第三国への供給に対する欧州の制裁免除を反映しています。

ヨーロッパ最大の衛星会社であるフランスの Eutelsatは、ロシアのテレビチャンネルが反ウクライナプロパガンダを広めたため、ヨーロッパ全域でNTV-Mirの放送を停止しました。規制当局によると、チャンネルは「ウクライナの政治リーダーとウクライナ軍だけでなく、何よりもウクライナ国民を第三帝国のナチスのイデオロギーに固執していると繰り返し描写する傾向がある」とのことです。

イタリアの税務警察は、プーチン大統領のために黒海にある豪華な不動産を設計した建築家の1億4100万ユーロ以上の資産を押収しました。

テクノロジー 最初のコントロール コンプレックスと 4 台のFlyEye偵察ドローンがウクライナに到着しました。それらは、軍隊向けのドローンの購入を目的とした「Army of Drones」プログラムの枠組みの中で購入されました。ウクライナのミハイロ・フェドロフデジタルトランスフォーメーション大臣によると、UNITED24プラットフォームを通じてドローン軍のために7億5500万UAHがすでに集められています。

文化 ウクライナの文化・情報政策省によれば、ロシア軍の侵略の結果、346の美術品や文化施設が破壊または損傷を受けました。ドネツク、キーウ、スミ、チェルニヒウ州の 14 のオブジェクトが完全に破壊されました。

ウクライナ"新作映画に興味がありますか？ウクライナ研究所が用意した[セクション](#)をご覧ください。

読書コーナー

- [War Spurs Ukrainian Efforts to Legalize Same-Sex Marriage | The New York Times](#) – 同性愛者の兵士の役割、彼らのパートナーに対する法的権利の欠如、そして反LGBTQ政策を課すロシアの脅威は、戦争をウクライナの変化のきっかけに変えました。LGBTQの人々の権利を保証することは、モスクワが領土を占領し、性的マイノリティが日常的に公式および非公式の差別、同性愛嫌悪、社会的不名誉に直面しているロシアにそれを併合することを計画しているときに、さらに緊急性を帯びてきました。ウクライナでは、ロシアの侵略者と制服を着て反撃しているLGBTQの人々の姿が、性的マイノリティの受け入れを促進するのに役立っています。

- [Making sense of the senseless: Ukrainian war-art exhibition arrives in Brussels | The Guardian](#)

総計情報

- ウクライナ軍参謀本部は2022年8月4日午前10時現在のロシア軍の推定総損失を発表しました: 人員約41,500人、戦車1789台、装甲戦闘車両(APV)4,150台、砲兵システム946台、多連装ロケットシステム(MLRS) 260台、対空戦システム118台、固定翼航空機 223台、ヘリコプター 191台、軽装甲車2,960台、ボートおよび軽装ボート15台、運用戦術レベルUAV742台、特殊装備83台、移動式短距離弾道ミサイルシステム182台。

すべてのアクションが重要であり、あなたの貢献が小さすぎることはありません！

- [Sharethetruths.org](#)プロジェクトを開始してから約160日です。[アンケート](#)に記入するために、5分間の時間をお願いします。 私たちはそれを実行し続け、さらに良くしたいので、あなたのフィードバックは非常に貴重です。
- ウクライナの若い活動家によってポーランドのワルシャワに設立された財団である[ウクライナからの声](#)です。財団は人道援助でウクライナ人を強制的に追放するのを助け、最前線でウクライナの擁護者に援助を提供します。財団は、慈善文化イベントやプロジェクトを組織し、ウクライナのパフォーマー、作家、芸術家と協力しています。
- [人道支援センター](#)のウェブサイトをお読みください。
- 精神障害のある人を雇用している[Good Bread for Good People](#)というパン屋をご支援ください。パン屋の人はキエフ市に残った人のためにパンを造っています。
- あなたの近くにある[人道センター](#)を支援してください。
- ここに旅行したことがあるか、友達がいるかに関わらず、ウクライナについてのストーリーを共有してください。ウクライナに関する情報を広めてください。
- [Twitter](#)と[Web](#)サイトで毎日アップデートを読んでください。

ウクライナをご支援いただきありがとうございます！Slava Ukrainiウクライナに栄光あれ！